



新年明けましておめでとございます。
暗い話題ばかり目立つ年初の中、明るい話題が入りました。空き缶回収活動において、地元北九州が2009年国内トップの評価を得ました。スチール缶リサイクル協会により、小学校(10校)、市民活動(10団体)、高校(1校・特別表彰)が表彰選考され、他都市の数を大きく上回りました。環境首都北九州の誇りです。

さかのぼる事7年。アルミ缶だけでなくスチール缶も回収する活動を始めました。今までにない活動だけに、「何故スチール缶か?」「お金にならない」などの質問が相次ぎました。趣旨・仕組みの説明を重ねながら今日に至っておりますが、北九州地域の皆様の多大なるご理解・ご支援が凝縮された結果であることを心より感謝しております。

これからの時代、金属は特別大切な資源です。簡単に輸入できなくなります。

国内で資源循環させ日本の環境力を、そのには、『空き缶基金』を通じて北九州力を見せたいものです。空き缶を原資として地域の為、環境学習や情操教育などの支援を継続してまいりたいと存じます。皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

NPO法人 空き缶基金
理事長 河野 捷紀



先月の空き缶回収量



21708キログラム

「協力ありがとうございました!」

先月のベスト3

- 北九州市立あやめが丘小学校(戸畑区)【510kg】
- 葛原第一長寿会(小倉南区)【510kg】
- 大谷まちづくりの協議会(戸畑区)【300kg】

高槻まちづくり協議会(八幡東区)
山の中腹に住宅が立ち並んでいます。センターまでの道のりには起伏が多いですが、予想に反して空き缶が集まっています。平成21年度「3R活動推進賞」を受賞。リサイクル活動の意識の高さはもちろん、まち協の組織がしっかりしていることが評価された理由です。



高槻地区の町並み



JICA(ジャICA)主催77-(市民センターにて)

昨年10月、市環境局からの推薦で、マレーシアの方々がセンターを訪問。高槻地区はコミュニティ活動が活発で、海外から注目されるほどの環境モデル地区となっています。

富野まちづくり協議会(小倉北区)

センターが出来てから5年。年々、地域ボランティアの数が増えており、様々な企画を立てることが出来始めました。平成21年の新企画を一つ紹介します。「ふれあい昼食会(月1回)」です。65歳以上の高齢者の方々(現在53名が参加)が来館し、皆で調理された昼食をとる企画です。



ほたる祭り 1コマ



二分の一人成人式【10歳児限定】
県内で富野地区だけ

定着行事は、5月末に実施する延命寺川での「ほたる祭り」。夜のほたる鑑賞をメインに、16時と時間を繰り下げて祭りを開始しています。



藤木小学校では、「ぼいストップ運動」を行っています。夏と秋の1週間、子どもたちは通学路に落ちている「ゴミ」を拾って登校してきます。登校する子どもが持つビニール袋には、空き缶やペットボトル、紙くずなどが入っています。

地域の方々も子どもたちの活動を見て、一緒に拾ってください、励ましや感謝、そして「大人が気をつけないといけないね」という声をかけてくださいます。異学年で登校しているので、友達間で、ビニール袋を持つ人、「ゴミ」を拾う人と学年に応じて協力し合う姿も見られます。

「ぼいストップ運動」の継続は、再利用という意識の高まりにつながり、波及効果のある取り組みになっています。1年前、あるクラスから始まったブルタブやペットボトルのふたの回収は、クラスの係活動におさまらず、全校的な取組となり、今では家庭や地域を巻き込んだ活動となっています。自分ができる環境にいいことが、1人でも多くの子どもたちの習慣となることを願っています。

北九州市立藤木小学校
校長 大川内 英樹



新たな参加団体

(株)サンリブへのいと宗像
北九州市立ひびきが丘小学校



以上 累計：247団体

先月の空き缶回収量



21721キログラム

「協力ありがとうございました！」

先月のベスト3

👑 葛原第一長寿会(小倉南区)【5000kg】

北九州市立赤崎小学校(若松区)【4000kg】

坂本町2丁目老人会(小倉北区)【2800kg】

三郎丸校区まちづくり協議会(小倉北区)

三郎丸校区は、小倉北区商業中心地の郊外にあります。若者の転入が多いこともあり、区内で人口が一番多いです。自治区連合会の活動も盛んで、「清掃活動」や「学童見守り活動」としては、年初、子供さんの通学をサポートしています。



どんど焼き
(2010/1/10)



餅つき
(臼50個分)

1月の恒例行事『どんど焼き』が開催されました。無病息災を祈願するため、520人の周辺住民の方々が三郎丸小学校へ集まりました。寒さを吹き飛ばすため、早朝から餅つき(120kg)、また、ぜんざいの炊き出しを行いました。

北方校区まちづくり協議会(小倉南区)

小倉南区の中で、「文化祭」が1番遅い3月に開催されます。拠り所であるセンターの開館が3月だったこと、また、1年間の活動成果を発表するには時期が良かったです。また、他地区が文化祭を開催する秋口には、「紫川大清掃」・「敬老会」などの行事が集中しています。



人権講演会



文化祭

年1回の定期行事として、外部の講師をお招きし、「人権講演会」を開催します。講師は地域の方々の要望で人選され、今年(3/23)は大分県の方が「いきいきした人生を送る」を講演します。



藤松小学校では、環境リサイクル活動として「空き缶回収」運動を平成16年より行っています。回収ボックスを校内に2台設置し、児童が家庭より持ってきた空き缶を入れていました。しかし、6年も経つと、運動も下火となり意識も薄れ回収量も低下していました。

そこで今年度は、「環境の保全についての知識や理解を深め、よりよい環境を作り出す行動力を育てる。」ことを目標に掲げ、初心に戻り学校一丸となつて、空き缶回収に取り組みました。

一学期末に「クラス対抗の空き缶集め大会」を開催し、その成果や課題を『代表委員会だより』『学校通信』で保護者・地域に発信しました。

そのことがきっかけとなり、学級によっては、ブルタブ集めや学級の係りに「E」係りを設けるなど活動の広がりが見え始めました。

この活動を通して、環境教育の充実を図っていきたいと考えています。

北九州市立藤松小学校
校長 茅野 充



新たな参加団体

神愛幼稚園 (若松区)

以上 累計…248団体

先月の空き缶回収量



16858キログラム

「協力ありがとうございました！」

先月のベスト3

葛原第一長寿会 (小倉南区) 【440kg】

坂本町2丁目老人会 (小倉北区) 【370kg】

本城団地 長寿会 (八幡西区) 【280kg】

守恒校区まがひの協議会 (小倉南区)

異世代交流と自治会加入促進をテーマにした「ふれあい守恒」を、平成20年度から始めました。餅つき・昔遊び・自治会PR・子ども会の作品展を主な内容とし、参加者へのぜんざいや豚汁の振舞いも大好評でした。



中学生も立派なつき手！



大活躍のパト車です！

空き缶と古紙回収の支援金を活用し、市内でいち早く導入したパトロール車による見守り活動は、地域の安全・安心な暮らしに大変役立っています。わがまち「守恒」最高です！

沼校区まがひの協議会 (小倉南区)

『3世代ふれあいの街』をキャッチフレーズに、子供から年配者まで、ふれあう機会を創出するべく独自の行事をたくさん行っています。

区主催の「まつりみなみ」と日程をずらして、実行委員会による「夏祭り」を開催。毎年核になる催しを披露して場内を盛り上げています。



「南原神楽」



和太鼓の演奏
【あけぼの保育園 園児】

毎年3月には、校区の年長者を招待し、地域交歓会を開催しています。子供さんによる和太鼓や、踊り等が演じられ、年配の方々が毎年楽しみにされる和やかな会です。



本校では、平成十五年度から、四年生が総合的な学習の時間で「空き缶リサイクル運動」に取り組んでいます。学校近辺の空き缶のポイ捨ての状況を調べ、捨てればただのゴミにしかならない空き缶が、回収してリサイクルすれば資源になることを学習しました。

それ以降、毎年四年生が、空き缶を資源として活用するために、学校放送で空き缶を持ってくるように呼びかけたり、地域の人も空き缶回収に協力していただくようにお願いしています。

今、赤崎小学校は、地域の空き缶回収の拠点の一つとなっており、平成二十一年度までに、約三万キログラムの空き缶を回収しました。

本校では、空き缶回収の収益金で、花の種や苗を購入して、花一杯の美しい学校環境を作っています。

北九州市立赤崎小学校

空き缶回収風景



春の空き缶回収量 (3〜5月合計)



61739 キログラム

ご協力ありがとうございました！

春のベスト3 (3〜5月合計)

👑 葛原第一長寿会 (小倉南区) 【1510kg】

坂本町2丁目老人会 (小倉北区) 【1080kg】

大谷まちづくり協議会 (戸畑区) 【975kg】

桜丘校区まちづくり協議会 (小倉北区)

桜丘校区には、宮本武蔵と佐々木小次郎が戦った巖流島を眼下に望む手向山公園があります。各地からの観光客と地元住民との交流を深め、また史跡の保存や地域の活性化を図るため、『武蔵・小次郎まつり』を毎年4月に開催しています。



武蔵の顕彰碑
【手向山公園内】



子ども納涼夏祭り
【他、小・中学生主体でこども屋台を出店】

地域総括補助金を、本校区では『子ども納涼まつり』の開催に充てています。少子化による世代間交流が衰退している中で、子ども達が大人と接する機会を設け、異世代間の連携に繋がることを目指し、今年7月、3回目の祭りを迎えます。

今町校区まちづくり協議会 (小倉北区)

「子どもは宝」という認識のもと、年長者ボランティアの支援を得て、子どもの体験活動を工夫しています。

五月の紫川のシロウオ調査、七月の川辺のキャンプ、十一月の親子ハゼ釣り大会など、紫川とのふれあいがメインテーマです。



シロウオ調査



川辺のキャンプ
の川遊び

特に、昨年のキャンプは八十名の子どもが参加し大盛況でした。「来年もキャンプをしてね」という要望に、年長者も笑顔になります。



本校では数年前から空き缶回収の活動を始めました。縦割り班ごとに行う郊外ごみゼロ活動や児童会組織である「グリーンクリーン委員会」の活動などを通じて、地道に空き缶回収を行っています。

また、児童の下足置き場付近に回収箱を設置しているの、登校中に拾った空き缶なども入れやすく、自発的、日常的な空き缶回収ができています。PTA会議室に近いこともあり、保護者の方々も協力してくださっており、さらに、最近では、スクールヘルパーの方々からも協力をいただくようになりました。児童・保護者の方々だけでなく、周囲の方々を含めた校区全体の活動へ広がっています。

今後も、児童会をはじめ、地域や保護者も一体となって空き缶回収を続けていきたいと思えます。

北九州市立小石小学校
郊外ごみ活動中の様子

新たな参加団体



- 堀越町内こども会 (小倉南区)
- 北九州市立竹末小学校 (八幡西区)
- 自悠茶論 幸神 (八幡西区)
- 銜古嶋クレーン (若松区)
- 北九州市立菅生児童館 (小倉南区)
- 銜岡島電気 (若松区)

夏の空き缶回収量 (6～8月合計)



688291 キログラム

「協力ありがとうございました！」

夏のベスト3 (6～8月合計)

- 葛原第一長寿会 (小倉南区) 【19910kg】
- 大谷まちづくり協議会 (戸畑区) 【19135kg】
- 赤崎小学校 (若松区) 【6500kg】

南丘校区まちづくり協議会 (小倉北区)

夏恒例行事である『そうめん流し』『わっしょい百万踊り』への参加『七夕交流会』も無事終了。7月のそうめん流しでは、143名の方が参加し、15kgのそうめんを「あっ」という間に完食。会場の雰囲気食欲が高まった小学生が予想以上の食べっぷり。そうめんが不足する事態...。



そうめん流し



わっしょい百万踊り
【赤いはっぴが
南丘女性部会】

8月は、南丘校区女性部会を中心に『百万踊り』のパレードに参加。5人を先頭に74名の方が素晴らしい踊りを披露しました。各行事を通じ、地域住民間のコミュニケーションを深めています。

北小倉校区まちづくり協議会 (小倉北区)

9月15日、環境衛生の改善活動が認められ、県知事賞を受賞しました【小倉北区の中で本協議会のみ】。1大イベントは境川清掃であり、年2回実施。北小倉小の生徒さんを合わせ、毎回総勢80名が参加しています。



境川清掃 風景



表彰状
(環境衛生の改善運動)

人口が元々少ない校区が選ばれたことに意義があると考えています。住民1人1人が各公園の整備や花植え、ごみステーションの整備といった日常的にやっていることの積み重ねが大切であり、本当のまちづくりの姿だと感じます。